

富田小 学校通信



回覧

令和7年7月18日号
新富町立富田小学校

充実した夏休みに!!!



早いもので、1学期が終わりました。新学期と同時に、運動会の練習が始まりました。運動会の練習は、学年で規律を高め、学校や学級のきまりの徹底にもつながられます。実際に、学年や学級で高められた絆が学年・学級経営の基盤になりました。その基盤をうまく活用して学級づくりや授業づくりにも生かしました。

6月になると、水泳学習が始まりました。多くの子どもたちは、水泳の時間を楽しみにしています。水着が入ったバッグを持って嬉しそうに登校する子、バッグを見せながら水泳を楽しみにしていることを話してくれる子等々、同じ体育の学習ですが、運動会とは違った楽しさを感じていることは十分に伝わってきました。振り返ると、充実した学校生活だったと感じます。

さて、明日から39日間の夏休みに入ります。夏の計画は立っているのでしょうか？ 子どもたちから聞く夏休みは、とても楽しそうです。保護者の皆様も、長い休みだからこそ!!! 今年は!!!と思われていらっしゃるのだろうなあ…とも思っていていました。時間があるときにしかできないことをたくさん経験させ、楽しんでください。



子育ては、期間限定です。子どもと一緒に過ごす時間は有限だからこそ、少々大変であっても、お子様との時間を大切にしたいと思っています。きっと、お子様にとってはその時間が必要ですし、重要なんです。10年後には、お子様も親の手から離れ、それぞれの人生を楽しんでいると思います。今の親子で共有できる時間を大切に、一日のうちの10分でもお子様と何かを楽しむ時間がつくれるといいですね。

何はともあれ、一番大事なことは、安全に気を付けて過ごすことです。事故や事件に巻き込まれることなく、元気に2学期が迎えられるよう、交通のきまりについても本日指導をしていますが、ご家庭でもお話いただくと助かります。

では、楽しい夏休みをお過ごしください。

「とんだっ子タイム」とは…?

ご存知のように、本校は、昼休み後の13:10～13:25の15分間に業間の時間を設定しています。月曜日はとんだっ子タイム、火・木曜日は清掃、その他の曜日は、学力の向上を目的としたスキルアップタイム、教育相談、全校集会、情報教育のための情報タイム、PTA読み聞かせ等を実施しています。



今年度、新たに実施しているのが「とんだっ子タイム」です。この時間は、学校経営ビジョンにある「挑戦と自律」につながる時間として設定されました。係活動や委員会活動、学級で合意を経て行う活動等、児童に主体的な活動を促し、児童自らが主体となって学校生活の質の向上を図ることを目指しています。自ら考えて創意工夫を凝らした活動ができると、活動している子どもはもちろんのこと、学級内の子どもも楽しく充実した時間を過ごすことができると思います。前例にとらわれず、新たなものを生み出す力は今後大切な力です。協働、意欲、目標達成、コミュニケーション力、思いやり等の非認知能力を高めることにもつながる時間だと考えています。是非、ご家庭で「とんだっ子タイム」でしていることを話題にしてみてください。



8・9月の行事(現段階での予定です)

日	曜	行 事
8/18	月	登校日
8/27	水	始業式 給食後13時下校 図書返却(高)
8/28	木	非行防止教室(中) 図書返却(中) 清掃オリエンテーション
8/29	金	非行防止教室(低) 図書返却(低)
9/ 1	月	非行防止教室(高) 図書返却(高) 教育実習開始(4の2) とんだっ子
9/ 3	水	地区集会
9/ 5	金	スキルタイム
9/ 8	月	とんだっ子
9/10	水	国際理解教育(1年) スキルタイム
9/11	木	国際理解教育(2年)
9/12	金	情報タイム
9/15	月	敬老の日
9/17	水	富田中学校見学(6年) スキルタイム
9/19	金	るびなす交流(6年) 教育相談
9/23	火	秋分の日
9/24	水	るびなす交流(5年) 教育相談
9/25	木	参観日 学級懇談
9/26	金	教育相談
9/29	月	とんだっ子
9/30	火	るびなす交流(2年)

家庭科ボランティア



5年生から家庭科の学習が始まります。子どもの家庭科に対する興味・関心が高いのは、生活と強く関連しているからだと思います。衣食住や消費という領域は、生活そのものです。生活に密着しているからこそ、大切な教科だと言えます。

6月中旬から5年生は裁縫の学習に入りました。まずは、「玉結び→波縫い→玉留め」という基本の縫い方の学習です。毎年のことですが、これが子どもにとっては難しいのです。「猫の手も借りたい」と指導者は思います。そんな時、学校を応援してくださいなのが、新富町地域婦人団体連絡協議会(地婦連)の方々です。1人よりも2人、2人よりも3人…とサポートしてくださる方の人数が多ければ多いほど助かります。玉結びの際に親指と人差し指で擦ったはずの糸が双方向に擦るものだから一向にねじれない…。子どもからすると「すごい!!!」 私たちからすると「なんで?!」となるのが、毎年の恒例となっています。だんだんと要領を得てできる子が増えてくるのが指導者側の楽しみでもあります。今年は保護者の方もサポートに来てくださいました。ご協力いただきました保護者の方、地婦連の方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



お知らせ

現在プルタブ回収は
行っておりません。

